

の感想

近頃



キネマの節
を舞合に取
れるといふこ
とは、今まで

にも絶無では
なかつたが、この一、二年來そ
の傾向が著るしくなつて、ま
ま流行しきやうな形勢を示して
ゐる。これは我が劇界に取つて
甚だ憂ふべき現象であると思
ふ。

演劇とキネマとは全然その立
場を異にしてゐる。積之面がア
シアの風で失敗したのが好い

お茶本で、演劇が自己の居所を
捨て、キネマに追隨して行く
は、演劇の自滅である。たれが
どんなに工夫しても、キネマそ
のまゝを演劇の舞台の上に表現
し得るものではない。キネマを
學べば、演劇の資けになるのは
分り切つてゐる。そんな馬鹿な
眞仰をしてゐるうちに、演劇の
本質はだん／＼に薄れてゆく。
さうして、ほろびて行くのであ
る。今のうちに目をさまさない
と、取返しのつかぬ事になるで
あらう。